



創業1917年

防毒マスク GM78S 取扱説明書

[直結式小型(半面形)] (型式検定合格番号第TN95号)

2017年 3月現在

本品をお買い上げいただき、ありがとうございました。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。この説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。もし、紛失された場合は、当社又は販売店へお申し出ください。

■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、よく読み安全にお使いください。各表示の意味は次のとおりです。

危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
注意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか又は本品の性能に悪影響が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項

本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守りください。誤った取扱いをされた場合、着用者の生命が危険な状態にさらされることがあります。



写真は、吸収缶CA-705／OVを取り付けた例です。

《しめひも》

- しめひもの通し方向をよく確認してください。
- しめひも取付具からしめひもを外してください。
- 新しいしめひもをもとどおりに、しめひも取付具に取り付けてください。
- しめひもにバックルを取り付けてください。
(しめひもがねじれていないことを確認してください。)

《パッキン》

- ピンセット等を使用してパッキンを外してください。
- 新しいパッキンをもとどおりにホルダーに取り付けてください。
(除菌用のアルコールをパッキンに塗布すると容易に取り付けられます。)

注意	パッキンを外す時は、ケガをしないようにご注意ください。 また、パッキンを交換する時は、ホルダーを傷つけないようにご注意ください。ホルダーに傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。
----	--

■手入れの方法

注意	必ず、吸収缶を外して実施してください。
----	---------------------

- 吸収缶を取り外し、接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひも等に付着した粉じん、汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽くしめらせた布で拭いてください。
- 汚れの著しい時には吸収缶を取り外し、吸収缶以外の部分を、中性洗剤を少量入れたぬるま湯又は水をスポンジ等に含ませて洗ってください。その場合は十分にすすぎ、陰干しをしてください。
- マスクを除菌用アルコールで拭いた時は、アルコール分が残らないよう十分に陰干ししてください。

注意	取り外した部分は、もとどおりに正しく取り付け直してください。
----	--------------------------------

注意	洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。
----	--------------------------------------

■保管方法

- 清潔な冷暗所で乾燥した状態で保管してください。
- 吸収缶は、マスクと別にして、ポリ袋や缶等に密封し、湿気や外気にさらされないように保管してください。

注意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。
----	--------------------------------------

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、吸収缶又は部品を交換してください。

《吸収缶》

- 打撃を受けたり落したりして、変形等が生じたとき。
- 有効時間に達したとき。
- 臭気、刺激又は味覚を感じたとき。
- 著しく吸気抵抗が上昇したとき。
- 防じん機能付き吸収缶の場合は、著しく吸気抵抗が上昇したとき又は粉じん捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は粘着性が認められたとき。

《しめひも》

- 老化により弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
- 亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は老化により弾力を失ったとき。

■吸収缶の有効時間の判定

1. ガス等の濃度と破過曲線図による方法

作業環境のガス濃度を測定して、そのガスについて吸収缶に添付してある破過曲線図から次の方法で有効時間を算定してください。吸収缶の有効時間はガス濃度によって異なります。なお、使用経歴が不明な場合は新しい吸収缶と交換してください。ガス濃度は常に一定ではありませんので、有効時間内でも使用中に臭気や刺激を感じたら直ちに新鮮な空気の得られる場所に避難し、新しい吸収缶と交換してください。

【吸収缶有効時間の概略算定方法】

吸収缶の有効時間は、環境中のガス濃度と使用時間から計算することができます。例えば、環境中のシクロヘキサン濃度が0.01%、使用する吸収缶の破過時間がシクロヘキサン0.03%に対して100分とすれば、

$$\begin{aligned} \text{有効時間 (分)} &= \frac{\text{試験ガス濃度 (\%)} \times \text{破過時間 (分)}}{\text{使用する環境中の有害ガス濃度 (\%)}} \\ &= \frac{0.03\% \times 100\text{分}}{0.01\%} = 300\text{分} \end{aligned}$$

継続使用する場合には、それぞれの場合のガス濃度と使用時間を使用時間記録カードに記録しておき、その積算値が所定の有効時間に近づいたら、その吸収缶は使用しないでください。なお、有機ガス用吸収缶では、繰り返し使用する場合の破過時間は、破過曲線図の有効時間より短くなることがあります。十分に安全を考慮し、余裕をもって吸収缶を交換してください。

2. 臭気、刺激などによる方法

防毒マスクの着用中にガス等の臭気、刺激又は味覚を感じた場合は、安全な場所で直ちに新しい吸収缶と交換してください。この方法は、臭気がばく露限界以下で感じられる、次のガス等のみに限定して適用してください。

硫化水素、アセトン、クレゾール、酢酸イソブチル、酢酸イソプロピル、酢酸エチル、酢酸ブチル、酢酸プロピル、スチレン、1-ブタノール、2-ブタノール、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン

警告	嗅覚には個人差があり、また、ガス等が徐々に漏れてくる場合は、人間の嗅覚などが麻痺してきます。この方法だけに頼ることは、危険ですので、他の方法と併用してください。
----	--

■吸収缶の保存期限

保存期限	望ましい保存状態
望ましい保存状態において、製造日から2年。 ただし、エチレンオキシド用とメタノール用は、1年。	1. 包装に孔あき等の破損がなく、未開封の状態であること。 2. 缶体にさびや変形がないこと。 3. 通常の状態（直射日光の当たらない場所で振動がなく、常温、常湿）で保管されていること。

■廃棄方法

使用済みの吸収缶は、環境中の有害物質を含んでいますので、法規制に従って廃棄してください。なお、吸収缶は、吸収剤に吸着された有害物質が遊離、又は吸収剤が吸収缶外に飛散しないように密閉性の高い袋等に入れて廃棄してください。

■オプション部品【別売】

●フィットチェッカー

密着性の良否の検査を行う場合に使用します。詳細は、密着性の良否の検査方法をご覧ください。

●外付けフィルタ用押え枠

吸収缶の前面に外付けフィルタを固定（取り付け）するのに使用します。

吸収缶、外付けフィルタ、押え枠、フィットチェッカー対応表

吸収缶品番	外付けフィルタ品番	押え枠品番	フィットチェッカー品番
CA-700シリーズ	—	—	R10
	L2L、LL	LL	R15
	L2U	UL	R3
	SC	CL	R10
CA-700Sシリーズ	—	—	R10
CA-700Lシリーズ			
CA-104NIIシリーズ			
CA-104Sシリーズ			

●吸水マットS7

呼気中の水分や汗などでマスク内に水分がたまる場合に、使用します。このマットは、汚れたら水洗いし、再使用できます。

●アルコール除菌スプレー

スプレー式の除菌用アルコールです。

●携行袋（半面形用）

マスクを収納したり、携行するのに便利です。

吸収缶の形状異常などの不良品がありましたら、ご連絡ください。当社責任のものは、無償で交換いたします。

この製品の取扱方法、その他について不明な点は、下記へお問い合わせください。



株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.

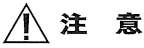
本社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
☎ 0120-36-0277



- 次の条件下では、使用しないでください。
 - 酸素濃度が不明又は18%未満の環境。
 - ガス又は蒸気の種類や濃度が不明の環境。
 - 性質の異なる複数種のガス又は蒸気が混在する環境。
 - 吸収缶で除去できない種類のガス又は蒸気が存在する環境。
- 本品の用途及び使用の範囲以外に使用しないでください。
- 初めて本品を使用される方は、必ず作業責任者の指導を受けてください。作業責任者の指導を受けられない場合は、この取扱説明書をよく読み、不明な点があれば、当社又は販売店へお問い合わせください。



- ホルダーや弁座等の部品が外れたり破損するおそれがありますので、マスクを折り曲げたり、変形させたり、過度な力を加えることはしないでください。
- 分解・改造を行わないでください。
- 純正部品以外は使用しないでください。
- 目に刺激性のあるガス等が存在する環境では、全面形面体を使用してください。
- 次の方は、本品の着用をしないでください。
 - 面体と顔面との接顔部に入り込むようなひげがある場合。
 - 排気弁の作動を妨害する口ひげ又はあごひげがある場合。
 - 体調が不調な場合。
 - 呼吸器又は循環器系に疾患がある場合。
 - その他産業界が不適当と認めた場合。
- 使用前点検を必ず実施してください。
- 面体と顔面との間にタオル等の気密を妨げるものを使用しないでください。また、「接顔メリヤス」等も使用しないでください。
- 使用中に次のことが生じた場合は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外してください。
 - 吸気抵抗が増加し、息苦しくなった場合。
 - 臭気、刺激又は味覚を感じた場合。
 - 部品が破損した場合。
 - 体調に不調を感じた場合。
- 保存期限を過ぎた吸収缶は、使用しないでください。（「吸収缶の保存期限」参照）
- 吸収缶に破損、変形、さび等がある場合は、使用しないでください。



- 本品の使用により、人によってはアレルギー反応や、また環境中の有害物質や汗のため、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現われることがあります。そのような場合には使用を中止し、皮膚科医等へご相談ください。（そのまま使用を続けると症状が悪化することがあります。）特に、アレルギー体質の方は、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合、直ちに使用を中止してください。
- マスク本体や部品が変形するような高温や高熱の作業場所では、使用しないでください。

